りそなグループ RESONA

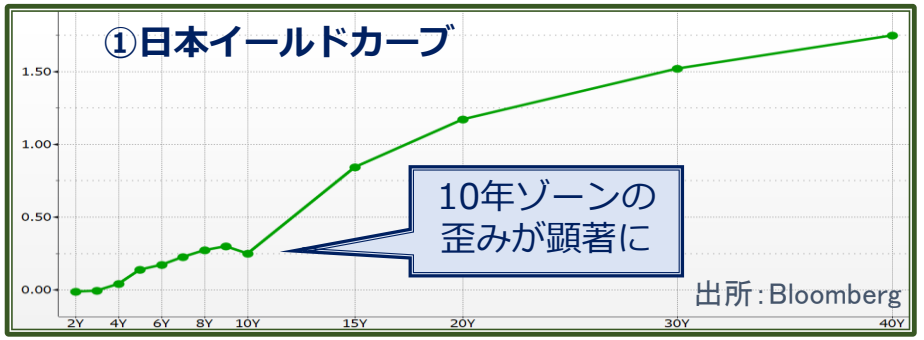
りそな経済フラッシュ
（日銀政策変更のポイント）

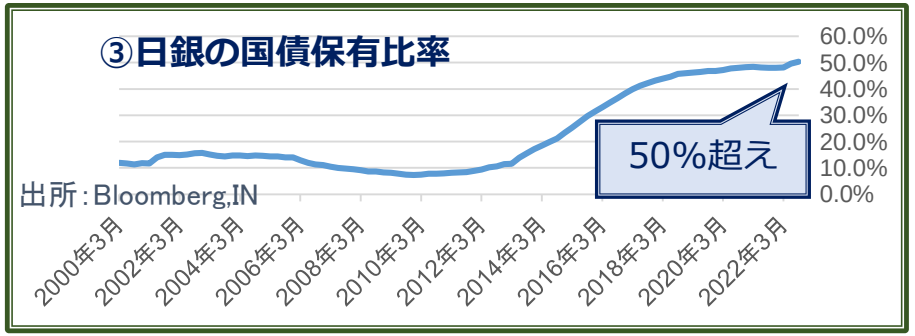
2022年12月27日
りそなHD 市場企画部
担当：石田

今回の日銀政策変更のポイント①

マイナス金利政策	•日銀当座預金の一部にマイナス金利を適用 • △0.1%	現状維持
長期国債買入れ額	• 定例的に定額を買い入れ • 7.3兆円 → 9兆円	増額
イールドカーブ・コントロール政策（YCC）	• 長期金利を一定水準へ誘導 • 0％程度	現状維持
YCCにおける許容変動幅	• 長期金利の変動幅を抑制 • ±0.25% → ±0.50%	拡大
その他資産の買入れ	•リスクプレミアムを抑制 •ETF、REIT、CP等を買入れ	現状維持

金融緩和の長期化による副作用





◎注意事項
当資料に記載された情報は信頼に足る情報源から得たデータ等に基づいて作成しておりますが、その内容については明示されていると否とにかかわらず、弊社がその正確性、確実性を保証するものではありません。また、ここに記載された内容が事前の連絡なしに変更されることがあります。また、当資料は情報提供を目的としており、金融商品等の売買を勧誘するものではありません。取引時期などの最終決定はお客さまご自身の判断でなされるようお願いいたします。

お問い合わせは、取引店の担当者までご連絡ください。

りそなグループ RESONA

りそな経済フラッシュ
（日銀政策変更のポイント）

2022年12月27日
りそなHD 市場企画部
担当：石田

今回の日銀政策変更のポイント②

日銀の国債買い入れ方法	①輪番オペ	②指値オペ
頻度	定例	臨時
金額	定額	無制限
買い入れ価格（利回り）	時価	固定
目的	緩和的な金融環境を維持	急激な金利上昇に対する対応
変更点	金額増額（7.3兆円→9兆円）	利回り変更（0.25%→0.5%）

2022/12/20　の日銀決定内容

『イールドカーブ・コントロールの運用見直し』より抜粋

YCCの運用　出所：日銀

より円滑にイールドカーブ全体の形成を促していく

国債買入れ額の大幅増額： 月間7.3兆円⇒9兆円程度

長期金利の変動幅拡大： ±0.25%程度⇒±0.5%程度

各年限における機動的な対応：

10年物の指値オペを「0.5%」で毎営業日実施

各年限で更なる買入れ増額や指値オペを機動的に実施

変動幅の拡大は緩和策とセットが多い

2016/1/29	マイナス金利付き量的・質的金融緩和の導入	マイナス金利政策の導入
2016/7/29	金融緩和の強化について	「総括的検証」を指示
2016/9/21	金融緩和強化のための新しい枠組み（総括的検証）	イールドカーブ・コントロールの導入（変動幅±10bp）
2018/7/31	強力な金融緩和継続のための枠組み強化	変動幅拡大（±20bp）
2021/3/19	より効果的で持続的な金融緩和について（政策点検）	変動幅拡大（±25bp）
2022/12/20	長期国債買入れの買入れ金額の増額等について	変動幅拡大（±50bp）

ドル円への影響：
金利低下余地も拡大しており、
中長期的にはニュートラルか

出所：Bloomberg

◎注意事項
当資料に記載された情報は信頼に足る情報源から得たデータ等に基づいて作成しておりますが、その内容については明示されていると否とにかかわらず、弊社がその正確性、確実性を保証するものではありません。また、ここに記載された内容が事前の連絡なしに変更されることがあります。また、当資料は情報提供を目的としており、金融商品等の売買を勧誘するものではありません。取引時期などの最終決定はお客さまご自身の判断でなされるようお願いいたします。